

黄金森公園屋内運動施設基本計画

及び都市計画変更に係る

住民説明会 議事要旨



日 時	令和5年10月17日(火) 午後7時～8時30分
場 所	南風原町立中央公民館 (黄金ホール)
参加人数	84名 (会場68名、WEB16名)

【質問者①】

今後20年の南風原町の人口動向について教えていただきたい。その中でも65歳以上とそれ未満、それについてどのように把握されているか。

【町】

20年の動向ということで、都市計画マスタープランに記載しています将来人口は、2040年は4万3,000人を想定しています。高齢人口は1万750人となっております。

【質問者①】

2040年までの人口の増が今より3,000弱ぐらいと聞きましたけれども、それだけの人口の南風原町に、この53億もの予算をかけて体育館を作るという必要性はあるのか。しかも53億という予算、どれだけの国庫負担があるのかも教えてください。

【町】

体育館の必要性ですが、先ほど資料にて説明させていただきました、南風原町には体育館が学校施設しかありません。そのことから、体育館を利用したい人が利用出来ないことで困っていること。またそれだけ需要があるという状況から、体育館は必要だと考えています。また、体育館をつくることは、スポーツだけではなく、福祉の向上や、地域の交流の場として一つの拠点になると考えており、そのことから体育館は必要と考えています。国庫補助として、社会資本整備総合交付金を想定しています。補助率は2分の1です。

【質問者①】

では残り2分の1は町が負担するというのでしょうか。

【町】

その通りです。

【質問者①】

では、町が負担するということは起債をして負担していくということで、借り入れをして負担していく考えがあるのでしょうか。

【町】

その部分については起債の活用も考えています。また、補助の残り分の2分の1については、民間の方と一緒に事業を行うことで、2分の1の費用負担は、一度、民間の方に資金調達をしていただいて、その分を補い、町としては、その負担していただいた分を15~20年の長期的な支払いを行っていくことも想定しています。その事については今後、PFI導入可能性調査で検討することになっています。

【質問者①】

民間を活用していくのもまだ不確定ということですか。

【町】

今年度、民間活力の導入可能性調査を行って、その中で検討、決定していくことになりま

す。

【質問者①】

当初、南風原町の計画に体育館があったのが今までできなかったことは、もう必要なかったからできなかったということではないのでしょうか。それを半分の金額まだ未確定の民間活用の半分の金額も合わせて、4万あまりの南風原町でこの借金を背負って、将来に負担を残すような事業って本当に必要なのでしょうか。先ほどから防災、防災とおっしゃいますけれども、防災拠点としてもちむぐる館があります。役場もあります。それで2重3重の施設を作って、なおかつ体育館を作ることが前提となつての詭弁としか思えません。これは一考の価値があると思います。再考していただきたいと思います。

【町】

防災拠点についてお答えいたします。今、ちむぐる館が防災拠点としてありますが、現在、南風原町は大災害を経験したことはありません。台風等により、ちむぐる館のほうに避難したりしていますが、実際、大規模災害が起きた場合には、ちむぐる館で十分ということでは考えておりません。ですので、今回、防災機能を兼ね備えた体育館建設ということで考えています。

【質問者①】

防災機能で言うと、職員の配置をどういうふうにしますか。役場、ちむぐる館、体育館にそれぞれ分配して、職員を置くというのですか、その辺の計画もきちんと掴んでいますか。職員に負担がくるようなことをしてはいけないと思ってお尋ねしています。

【町】

防災のお話なんです、大災害が来た場合、職員は当然はりつきになると思います。今の避難所というのは、例えば東日本の時のような、こういったスペースに雑魚寝ということはございません。1個1個のパーティションで区切られるのが常識となっています。ですから、南風原町防災計画に記載のあるマグニチュードを超える想定外の地震が発生した場合を考えると、それなりのスペース、施設が必要ということでございます。ただ、防災だけじゃなくて、普通は体育館として活用するんですが、いざとなったら防災の機能としても活用できるようなことも考えて計画はしていきたいということでございます。それと、最初、担当が申し上げたんですが、53億円、8,000㎡というのは、あくまで現時点での基本計画でございます。これから、民間企業の参入ができるような可能性を探りながら、本町にあった施設整備を行うということでございます。それから、補助金についても、基本公園補助が2分の1ですが、他の補助の活用も検討していくということになります。沖縄振興特定事業推進費がもし活用が可能ということになれば、8割の補助が可能になったりいたします。それと起債についてお話いたします。道路、下水道、学校の整備の補助のつかない部分は、耐用年数を上限として、お金を起債して、みんなで世代間平等で返していくという側面も持っているということもひとつご理解願いたいと思います。

【質問者①】

アンケート調査を実施しています。私の周りに聞いても誰もアンケートに答えた人はいませんでした。それから、ヒアリング行っていますが、これはもう建築ありきのヒアリングである。もう作るのがあたりまえ、町長が作ると言ったからやるという、そういうふうにはしか見えません。それについてどうお考えですか。

【町】

アンケート調査については、ホームページ、LINEでの発信、各自治会、公民館等の窓口、配布させていただき、そちらでアンケートに回答できるようにしました。また、公共施設として、役場や公民館、陸上競技場、農協など、可能な限り幅広く町民の方にアンケートを行っていただけるように様々な場所で周知できたものと考えています。

【質問者②】

先ほど概算事業費約53億円で、B/Cが1を超えてるから妥当というお話しがありましたが、具体的に体育館の利用料や維持費、特にそういったものが本日の配付資料の概要版に書かれていないので、そういったところを教えていただけたらと思います。もう1点が、測量と土質調査が今からってということになってるんですけど、そういうのをやってから、こういう計画ができあがるのかなと思ったので、そこが疑問でした。

【町】

維持費についてですが、本日配布資料の基本計画書概要版には記載されていませんが、ホームページで公表しています本編の方に載せており、近隣の市町村の事例を参考にしています。また、利用料については近隣市町村の料金を参考に検討していきます。

現在、基本計画を策定した段階です。今後、詳細な設計を行っていきます。その詳細な設計を行う前の計画地の概略を知るために、4ヶ所の地盤調査を行っております。また今後、設計を進めていく中で、建物の計画地において、さらに具体的な土質調査、測量調査を実施していく流れとなります。

【質問者③】

体育館を作るということは、もうすでに決まっていることなんですか。それとも、今後作る作らないというのを決めることなのか。まず1点ですね。それと、もし、まだ正式に決まっていないのであれば、今から53億円の2分の1の負担が無理という時に引き返すことができるのか。それを教えてください。

【町長】

決定といいますよりは、この黄金森公園を平成2年に計画してるわけです。その後、野球場、陸上競技を整備しました。そのときに、体育館も計画があります。平成2年の黄金森公園設計の中で、すでに体育館の建設が計画されてるわけです。ですけども場所は、今の野球場と陸上競技場の間の駐車場の部分が建設予定地だったものですから、策定委員会の皆さんからこの場所だと狭隘だと意見がでました。陸上競技場と野球場に挟まれて圧迫感があるという話が出たと伺っております。その後、陸上競技場と野球場を先に造っているわけです。平成17年度に計画の見直しということで、やはり体育館を作る時期にきたんじゃないかということで作ろうと。建設しましょうということで、その場所が、今のちむぐる館の場所です。そこに作ろうというようなことで、ドーム型にしよう結構細かい計画ができています。ですがその時に、社会福祉協議会が老朽化しているということで、体育館よりも社会福祉協議会を作るのが先じゃないかっていうような意見が出ました。そこで、社会福祉協議会を建設して、ちむぐる館ができたわけです。平成17年の時の体育館も先送りになったというようなことなんです。私はそれについては、やりたいから作るということではなく、平成2年の黄金森公園計画から既に決定していると。我々は町民の皆さんが学校施設を自由に使えないという状況も聞いております。そろそろ、体育館を建設しても良いのではないかと判断し、私は選挙の公約に掲げました。公約でございますので、町民の皆さんに対する体育館を整備すべきだろうということで、令和2年度に改めて、また町民体育館建設に向けた策定委員会を立ち上げて、これまで審議をし、今回の基本計画が策定されました。それを事業化していくということで今日の説明会となっています。53億円っていうのは確かにひとりあるきしています。これはあくまでも策定

委員会の皆さんが、こんな体育館を作りたい、こういった体育館が望ましいという、いろいろな機能、施設、レストランがあってもいいんじゃないかと、そういった希望面積があるわけです。その面積を建築単価に掛けて数字を出したのが、53億円というふうに理解をしていただいてもいいと思います。これからは、常に言っているんですけども、作る作らないじゃなくて、どんな体育館をつくるべきかということを議論したいです。53億円というのも、これから精査していくべきだと私も思っています。でもおそらく53億円といえますのは、現在の建築単価ですからこの数字は動くと思います。ですからあくまでもこの数字も確定ではないというふうにご理解をしていただきたいと思います。申し上げたいのは、平成2年から体育館を作る計画があるということです。ご理解いただきたいなと思います。

【質問者③】

平成2年から計画があって、何度か立ち切れではないんですけど、見直してきたということだと理解します。であれば今回もですね、決して無理はなさらないで、南風原町の予算について人口規模で、身の丈に合ったものを造っていただきたいなと思います。私も一町民として考えていることは、運動施設は、陸上競技場、野球場とか立派なもの、陸上競技場の芝なんて素晴らしいです。ひるがえって図書館が申し訳ないけど貧弱。近隣の、例えば西原町の図書館と比べるとかなり見劣りがすると思います。なので、私一個人としては、体育館よりも、図書館を整備して欲しいなあとということです。

【質問者④】

子供たちが皆、屋内競技のスポーツをやっている、体育館が出来ることは楽しみにしています。体育館を概算で53億円で造っていく想定をしたなかで、例えばプロチームなどのトップリーグを子供たちに見せて育成にもなればなという思いがありますが、スポンサーなどは考えていますか。

【町】

ネーミングライツなどの年間の広告料をいただいているセルラースタジアムもそうだと思います。やはりまだ具体的な検討段階ではありませんので、今後、また広がっていくのかなということでございます。あくまで今はPFI導入可能性調査でどのような施設になるよというのを、今、民間事業者さんのご意見を拝聴しながら、調査、検討中でございます。それはまた完成間近といいますか民間の受託者が決定してから、そういったことは具体的に検討に入ると思います。

【質問者④】

規模として例えばですけども、体育館を作るにあたり、県内沢山の体育館を参考にしてきたと思います。例えば豊見城市であれば豊見城体育館、与那原町の体育館もいろいろあります

が、だいたい観客席は何席ぐらいで、他どれぐらいというようなのは決まってるんでしょうか。

【町】

どういった施設規模になるかはまだ決定していない状況です。現在の基本計画で想定している施設規模としては、豊見城体育館ぐらいを想定していますが、今後、検討を行い、決定していく予定となっています。

【質問者⑤】

都市計画変更についてご質問させていただきます。沖縄市におきましては、沖縄アリーナを整備するにあたって向かいの方にホテルを誘致することによって駐車場を整備したり、豊見城市においては、しおさい公園において、民間活用することによって税収を上げるというかたちになっています。今回、都市計画変更で総合公園の面積が増えるんですが、市街化調整区域の変更が見当たりません。民間活用した際に市街化調整区域のままですと、建物が建てられないので、今日も皆さんが懸念されている53億の負担を減らすときに、民間さんが企画する建てるですとか、カフェやコンビニを作る案を出したときに、建物が建てられないのかなという懸念をしております。豊見城市ですと市街化調整区域でも、観光振興の例外という形で、瀬長島の温泉ホテルを作ったりしています。今回は、都市計画変更を決定しても市街化調整区域そのままなのか総合公園地区だけを増やすのか教えていただけたらと思います。

【町】

今回、東側に公園区域を2.6ヘクタール拡大する変更内容となっています。都市計画法では市街化調整区域になりますが、都市公園法に基づく公園区域になるので今おっしゃった、例えば飲食店ならば便益施設として建築することは可能ということになってます。町も県に確認をした上での計画を進めてるところで、今後このPFIを活用する中で、この体育館施設と合わせて、そういった相乗効果が生み出せるような便益施設も含めて、このPFI導入可能性調査で、民間事業者と調整をしていきたいと考えております。

【質問者①】

地球が温暖化しているという状況は世界規模で起こっていて、こういった施設を作ること、温暖化に加担ことに危惧を持っています。それから農地をつぶして体育館を作るとは、どういうことですか。例えば、南風原町の自給率ってどのぐらいあるんでしょうか。30%切ってると思います。今後、何かあったとき南風原町が自分たちで、自分たちの食べ物を作ることができないようなことを行政としてやっていいのかなど。この2点、私は疑問を持っています。それから、この事業をする53億をかけて作るということに対して、他の事業を削って、この予算に充てるってということはないんですか。

【町】

農業自給率について、町の自給率の資料を持っていませんので、すいませんがお答えできません。次に、他の事業を削るということですが、これは、都市公園の予算でありますので、他の事業とは、区別して進めていく予定となっております。

【質問者①】

ほかの事業が削られるということはないんですね。

【町】

はいその通りです。

【質問者①】

沖縄全体として自給率が 30%切ってるということがありますので、やはり何かあった際に、農地や農業の確保、そこに対する手厚い保護ってのは必要になってくると思います。こういう一過性のものに 53 億出せるならば、そこへの補助金にもっと手厚くしていく、そういった農業を育てていくことも、もっと考えるべきだと思います。

【質問者⑥】

毎年いらっしゃっている名古屋グランパスさんは、南風原町にお金を落としてくれているとか、そういう部分はあるんでしょうか。

【町】

グランパスの直接的費用だと、キャンプ期間中の施設使用料のお支払いはあります。他に、直接的費用ではないですが、子供たちへ、グランパス管理栄養士のメニューによるグランパス給食の提供。また、グランパスの OB、選手による子供達への指導。それから夢先生という元日本代表選手による子供達への講話です。そういった活動で貢献していただいています。さらに、グランパスが行うキャンプ中の練習マッチでの 1 ゴールにつき、サッカーボール 10 球を町内の小中学生へ提供していただいております。

【質問者⑦】

体育館建設は議会の方針として決定されてるんでしょうか。先ほどの回答で、いろいろな事情で建設が伸びているとのことでしたが、これは議会の承認を受けられているのかどうか、決定なのかどうか明確に示して欲しい。もし決定であるとすればどの機会に承認されたのかも含めてご説明をお願いします。それともう 1 点は、この建設については、基本賛成です、地域住民の社会福祉向上という点からすると、とても大事なことだと思います。ですが、問題はその予算です。53 億と聞いたときに正直愕然としました。町の一般財政は約 150 億円ぐらい。その予算規模からすると 3 分の 1 が、体育館建設ということになります。交付金は 2 分の 1 というんですけども、それでも 25 億円です。結局私たちの税金の負担になります。将来の人口動態の話

ありましたが、2040年まで南風原町は増えていくというような試算しているが、今年の人口調査全国的に2045年は今の推移でいくと、日本は1億大きく割って、7500万の人口というような推計があります。また、沖縄は今年になって初めて若干減っています。こういう状況の中で、20年先の町の推計は甘いんじゃないかと。そうすると私達の負担がますます増えることになります。人口推計について、もっと細かく研究する必要があるんじゃないかというのが2点目です。3点目はアンケートヒアリングの問題です。資料のグラフを見ると、体育館ができるとしたらその機能どう思いますかという、体育館ありきのアンケートなってます。本当に体育館施設が必要なのかどうかっていうのは、アンケートの中には十分反映されてないと考えます。ですから、本当に南風原町民が体育館施設を必要だと証明されるようなアンケートを、再度行う必要があるんじゃないかと考えます。この3点についてお答えをお願いします。

【町長】

議会の方針として決定しているのかとのご質問についてお答えいたします。議会において、例えば体育館を作る作らない、という議論があっても、そういった議案というのは、議会には提出は出来ないと認識しております。議会には議案を提案し議決してもらう。そういった機能になります。これまで、令和2年から、策定委員の報酬や、最近では基本計画策定、土質調査、PFI導入可能性調査など、議案や予算を提案しております。その予算について議決をいただいておりますので、作るか作らないかかっていうことはもう議会の方でもご理解いただいて、もちろん反対の議員さんもいらっしゃるかと思いますが、議会の機能に対しましては、一定の判断を仰いだというふうに理解しております。

【町】

人口の件についてお答えいたします。町で設定してる人口推計は、国立社会保障人口問題研究所の推計を基にしています。町独自で推計してるわけではないということです。またアンケートヒアリングは、体育館ありきの質問ではないかという質問ですが、今回の基本計画を策定するに当たって、体育館にどういった機能を設け、どういった施設にしていくか、どういった規模にしていくか、どういったコンセプトにするかということを経営として行い、基本計画を策定してきましたので、体育館を作るにあたってどういったものがいいですかということ、町民の方や、またそういった団体の方にうかがったということです。

【町】

財政ついてですが、53億は、あくまで現在求められている機能すべてを網羅した面積に、現時点の公共施設の単価を掛けた結果です。今後、町にみあった規模や建築方法などの検討を行っていくので流動的ということです。そして、仮に2分の1補助があって、残りの2分の1については、起債という借入れをして返していくということですが、それは耐用年数の25年以上で償還していきます。もう一つ、公園の起債には、毎年元利償還金を払い、返す元金利息の何%は交付税措置します、いわゆる地方交付税として算入しますよという制度がある起債で

す。今、具体的な数値は示せませんが、地方交付税措置されるということで、すべてが持ち出しではないということです。

【質問者⑦】

2点目についてですが、今の回答で、議会において建設するかしないかというふうに議論すべきものではないと、僕もそう思います。議会に議案として提案されますので、この後の体育館建設事業費がどれぐらいの予算で、それに対して今後の運営や将来の見通し、そのようなことが提案される、議論され始めて、議会として具体的に進められていると、いうふうに答えていただきたいんですけども、そういう議会の議論はなかったですね。総合計画の中に体育館建設が含まれてるから、議会で承認されたという考えなんではいでしょうか。また、起債について回答いただきましたが、起債は地方交付税措置され、全額負担するものではないと私もそう思います。ですが、いま国の財政をみた場合に、地方交付税どんどん削られています。将来もそういうふうになると。国では予算を通すためにいろんな税金が削られています。その中で、先ほどのことを期待できるかなど。要するに総合計画の一部に体育館建設も含まれており、総合計画は議会に理解得ているので、体育館建設の議会の承認を受けてるというふうに理解していいんでしょうか。

【町長】

先ほども申し上げたとおり、総合計画は議会で審議し、議決をいただいておりますので、その点については、おっしゃる通り、そういった部分もあるかと思えます。ただ申し上げたいのは、体育館を作る作らないかという議決は無いですという、ご質問と認識していますので、そういうような議決はありませんというお話をしたつもりです。要するに議案としては、予算しかありませんが、この体育館建設に関し、予算の中で審議をしていただいたというふうに認識をしているということです。

【質問者⑧】

質問者⑦の質問に対する回答に、予算の中に調査費なども含めて、その予算を議決してもらったので、この町民体育館の建設についても了解してもらったと考えておりますというような言葉がありましたが、私はそれは違うと思えます。それで別の質問ですが、基本計画の概要の第8章見ていただきたいんですが費用対効果のところ B/C は 1.38 である。これについて皆さんにわかりやすく、改めて説明してもらいたい。

【町】

費用便益というのは、施設整備費や維持管理費などの費用と、便益として直接的な価値や間接的な価値を比較し、整備した分に対しての、効果があるかというのが、費用便益というものになります。略して B/C です。実際の公園というのは、利益を生み出す施設ではありませんの

で、公園を利用するための費用などの直接的価値や、公園が存在することによる間接的価値、そういった価値を算出して整備費以上の効果を生み出すのかを確認します。

【質問者⑧】

そうすると、公園や体育館などを利用した方々のいわゆる便益を含めたということですが、便益を除いた、実際の収入を分子へ、費用を分母に持ってくるような費用の計算もやったのでしょうか。それともそれはこれからやるのでしょうか。

【町】

収入と費用だけの計算はないと認識しています。

【質問者⑧】

今の答えの意味がわからない。なんの費用。聞いているのは先ほど公園体育館の利用する人たちをどのように、どういう数値であらわすのか。それらを除いた実際の見込みの収入。そしてそれを持ってきて、費用を持ってくる。そういったものは、これまでに、検討されたか調査されたか。それともこれからなのか。

【町】

今ご質問なされた内容はいわゆる投資に対して利用料で賄えるかという質問だという理解してお話します。公共施設の多くは赤字だと思います。公民館、図書館、文化センターなどは、町民福祉向上のためですので、運営費用等々すると採算はマイナスということになると思います。その辺が公共施設という由縁と言いますか、これは目的が町民の健康増進福祉の向上ですので、採算としては成り立ちません。ただ、先ほど公共施設の B/C、費用対効果というのは、この投資に対して、利用者にさきほど説明したような効果をもたらされましたという計算です。なので、具体的にこの人は幸福感を得たという数字はなかなか難しいと思いますが、そのようなルール上で算出した結果が、1.38 になっている。また詳しいことがお聞きになりければ、担当の方からでも情報提供させていただきます。

【質問者⑧】

この 1.38 という数字を導き出す計算式を次の機会に示していただきたいと思いますが、お願いできますか。

【町】

資料をご提供させていただきます。

【質問者①】

53 億という予算が先ほどから言われていますが南風原町の事業者で、この予算規模で建築が可能な事業者はいますか。南風原町内でちゃんと賄えますか。私は建築に対しては賛成という立場ではないですが、南風原町の利益を考えると、やはり地元事業者を大事にする点ではどのように考えてるかお聞かせください。

【町】

地元業者の育成の観点からの質問だと思います。このような大きい施設の場合、南風原町内の業者だけで賄えるかというのは判断出来ませんが、実施するには、共同企業体等のいろいろな方法を試案することで、町内業者も参入可能だと考えます。また、一大事業ですので、庁内業者と大手メーカーで協力することも出来ると考えます。そのようなことも考慮しながら、PFI事業者の選定を行っていきます。

【質問者①】

公平、公正、そして透明性の高い入札を望みます。

【質問者③】

何度も53億円という数字が出ているんですけども、これは昨今の建築費の増加とか、人件費の増加というのを見ると、減らすこともあるし、普通に考えれば、53億円と計画したものが、53億円で収まることはない。60億、70億になっても不思議はないと思っています。先ほどの、回答の中で補助金2分の1になると、その2分の1の補助金支払いもまたは地方交付税で賄えますよということなんですが、単純に考えて、町の人口規模、財政規模から、半分の補助金であれば、非常に厳しいんじゃないかと。耐えられないんじゃないかというふうに思っています。何か計算してないですが、例えば公民館であるとか文化センターであるとか他に小学校、中学校施設も町は所有している。そういう施設も順次更新しないといけないし、補修もしないといけない。そういう費用も出てくる。その時に、2分の1の補助率では耐えられないと思います。先ほど何か補助金が出たら8割負担ですよ。8割補助が出てますと言われたんですが、8割であれば何とかなるのかな。残り2割を地方交付税と一緒に賄いながらやれば何とかなるかもしれないと思います。5割だと多分、うちの財政規模では耐えられないんじゃないかと思えます。そこら辺の見通しというのはどういうふうに考えられていますか。

【町】

多くの皆さん、53億円のお話なんですけど、先ほどらいお話通りですが、規模を精査して参ります。そうすると、建築費、事業費も変わります。本町が財政をしっかりと持続可能な状況も鑑みて、本町の人口規模等に合った施設整備を検討していきます。また、補助金については様々なメニューがありますので、一番有利なものを検討して参りたいと考えています。

【質問者③】

検討していくということであれば、検討した中で、無理だとなれば、撤退するという選択肢も残しておいて欲しいなと思っています。なぜかというと、今から起債して償還していきます。この償還する人たちはここにいる人たちじゃない。我々はもう定年して、年金生活に入ります。ここにいる皆さんもほとんどだだと思います。支払うのは私達の子や孫の世代なんです。

耐用年数で割っていけば、子や孫の世代に負担をかけたくないと思っています。なので、駄目だと思ったら撤退する選択肢を残しておいて欲しいなと思います。その点いかがでしょうか。

【町長】

建設しようということ、一大決心してるわけでございますので、その最初の段階で、撤退を視野に入れることはございません。そういうことでぜひ、町民の皆さんも、ご理解をいただきたいなと。素晴らしい体育館を作って、子や孫に喜ばれるようなものにしていきたいなと思っております。ご理解をお願いします。

【質問者⑨】

先ほどから 53 億とかでています、新聞記事では 50 億でした。3 億が増えました。わずか数か月で材料費があがっているというのはわかります。それから労務費も上がっている。労務費単価は年々上がっている気がしています。この数ヶ月の間に、積算し直して 53 億が出てきたのかお聞きしたい。それから先ほどから、2040 年までに人口が上がってるというお話があったんですが、前に説明を聞いたときには、人口でどここのところをお願いして調査してその結果がでている。町としての独自の人口統計、また想定から出して、上がっているんだという風にお聞きしたと思っています。それが、先ほどのご回答では、どこかのコンサルタントに人口推計を行い、出しておりますということですので、それが増えてるっていうのは、そのコンサルタントの算定ですか、それとも南風原町が独自で行って、人口が増えてるということを書いてたんじゃない、くつがえっているの、そこをお聞きしたい。それから、南風原町公共施設等管理計画平成 29 年 3 月。この計画書の後ろの方にあります、平成 76 年度 232 億円になると財政シミュレーションが出てました。毎年 5 億円ぐらい削減しないととありました。これは、この体育館を作らなくても、今ある公共の施設を毎年、毎年、費用がかかってくると私はそう思っているんですけどもそこはどうなんだろうという質問。それから、この償還期間 20 年。お話ありましたけれども、その償還しました。だけど、体育館は残ります。残ったあとの毎年のランニングコストというのは、幾らでしょうか。であわせて南風原町公共施設のランニングコストとプラスするとどのぐらいのランニングコストを払っていかないといけないのか。どうなのか。そういうことお聞きしたいです。最後にですね、共同通信の調査で 23 自治体、消滅の危機感を県内人口減を受けて、調査がありました。それが新聞記事にのっています。これは首長さんにアンケートをしているということで、南風原町ある程度危機感をいだいているということです。消滅の危機ですよ。消滅の危機。ということは、財政危機がある程度起こりうるというふうに想定していただいて、その話をアンケートにお答えされたのかなと。石垣市と浦添市とかもほかの自治体さん、たくさんあるんですけど、強く抱いているところが 6 自治体あります。このような話があるとすれば、将来の財政はどうなっているかということです。先ほどのご質問ありましたけれども、自分たちの世代によって次の世代、子や孫の世代を支える。

我々の世代はどんどん年をとっていくので、福祉の方にお金を使っていたら、プラスアルファがなければ我々世代としては厳しいのかなと思います。もう一つ。こういった施策で体育館ができるところにスターバックスとかいろんなものが将来できるような、そこに何かうまれなければ、税収とか、法人税収とそういったものが入ってもらえば、もしかしたら、どっかのほかのところの調整区域で人口減っているいろいろありました。そこで、税収が増えるっていうことであれば、あるかもしれない。要するに南風原町はいままで農業で支えられていると私は思っています、農業だったから、他の地域から人は増えるわけですけど、増えても、農地がつぶれていくと支えられないんじゃないかというふうに思っております。私も15年から20年、土地を探して、南風原町すきだなあと考えたので、南風原町に移りすみました。なので、将来、南風原町のこの田園風景というのを残したいなという気持ちはものすごくあるのでそこはちょっと残していただきたいなと思っています。

【町】

人口の推計については、国立社会保障人口問題研究所の推計を採用させていただいております。以前に説明させていただいたのも同じです。

【町】

50億円が53億円ということですが、町では、資料の概要書でも記載のとおり、当初から53億円となっています。

【町】

公共施設等総合管理計画に記載されている内容は、今ある施設すべてを、耐用年数時に、同じ建築費で完全に作り変えたときには、これだけの費用がかかりますということです。そうならないために、それぞれの施設の延命化を図りますという計画が、公共施設等総合管理計画です。それぞれの施設の具体的な維持管理計画については個別で計画することになっております。施設をこのままの状態、耐用年数時に、すべてをおんなじように再築したときには、これだけかかるという表現であることをご理解をお願いします。それから、共同通信の町の消滅の危機という表現だったかと思いますが、人口減少の懸念がありますかというふうな質問だったかというふうに覚えています。日本は今の状態でいけば、人口減少になるというふうに思うんですが、先ほどあったように、国立社会保障人口問題研究所の推計では、2040年までは微増するという統計が出てくるということです。それから、起債の償還ですが、公共投資については、国債、地方債などを長期に返済をしていくわけですが、逆に今いる人だけが負担するのは大きいので、耐用年数において世代間の負担の平等化するというのが、起債の一つの考え方であるというのもご理解いただきたいと思います。

【町】

農地についてですが、おっしゃる通り南風原町の農地の確保については、農業振興、産業振興から取り組んでいるところであります。先ほど第3章の説明がありましたが、まず、公園の

区域拡大については、4ヶ所から検討しました。その際、既存の公園施設は離さず、利用者の利便性や、陸上競技場、体育館、野球場の一体利用の観点から、黄金森公園の東側が最適な場所だと委員会の方で決定しました。ご理解のほどよろしく願いいたします。

【質問者⑨】

最初、人口推計の話ですが、国立まるまるというところの推計でした。ですが、前回の説明会では設計しているところが、こういったところで推計されている。南風原町のその後ですね。それぞれなっているというようなことだったと思うんですけども、町独自の人口推計を行ったというような感じでご回答いただいたと思うんですけど私の勘違いでしょうか。何かそういうようなことを言ったような気がします。最初、当初からそういうふうなものだったら、そこの名前をお出しになって、町の人口推計ってのはこういうふうになってますというふうにあからさまにした方が、いいんじゃないかなと思いました。それから50億から53億になったことについても、当初からそうなってますという話ですけども、記事に出たのは50億でした。それから53億になり、3億上がっていますということを、私は記事にのっていたものからそのまま使用させてもらいました。今後、ご質問でありました、もっと上がるんじゃないかと。天井知らず上がることを不安している。それを規模を検討しますと。それであれば、アッパーはどこまでですか。というようなお話があって、将来償還するようなことも含めてですね、やると経済には山と谷の波があるからそれはそれで均していくと53億になるいうふうにおっしゃるなら、ちょっと違うようなそういうふうになるかもしれませんけど。だけど、いま予算を積算してですね、同規模な物を作るとしたら、この予算を40億で、当然40億ぐらいでっていう話もあったと思いますけど、40億でやるんだったらというようなことをお示ししていただいたほうがいいんじゃないかと思います。上にあがれば、ほとんど東京オリンピックでそうなっていたわけですから南風原町でも起こりえないということは断言できないと思うんです。なのでそこら辺はちょっと。本当にお示ししていただいたほうがよいのではないかと思いましたのでよろしく願いいたします。それから公共施設の管理、今の建て替え、このままの公共施設で、再建築した場合は、そういうようなことになる、もう大変なことだと思います。このまま公共施設がですね。今後それをもし、今みたいに25年、30年、だいたい耐用年数は50年だと思っんですけども、だけど、学校とかそういったところは、40年から、長いところで45年それぐらいでは建て替えされています。そういう事例もあると思うんです。それを考えると、償還してどんどん古くなればなるほど、ランニングコストは増えていきますよね。当然材料がなくなったりとか、前の材料がきかないとか。そういうところがありますけど、そして、やはりこの今建てているものは、各地域でやはり必要なものとされてると思いますので、その建て替えが普通でしょう。今、公共施設の維持管理をどうやってくかというところが、大切なことじゃないのかなと思ってます。なので、この体育館を作り、その体育館が償還した後ですよ、どれぐらいなのかっていうのは、やはり私たち気になる場所なので、そこは当

然、建築するコストと一緒に積算をしてるはずですよ。それなしにこれをこの体育館を作っ
て建設するだけの積算をやるってことは考えられないのでそこは、お示しいたきたいで
す。それと、農地転用して、いまのところを作られて、体育館の建設用地を作ってるわけ
ですからここは国の補助事業とかそういったものが入って作られてるところを用地を転用して、今
の体育館を作れるようなところにしました。なので、作るとしたら、もうそれしかないとい
うことであらばということですけど。皆さんも行って見てください。農地がどれぐらいけずら
れるのか。あそこすごいいいところですよそこに作るわけです。作る以上はやっぱりいいも
の作ってやろうって風には私たちは思ってますけども、あそこにどれだけの農地を確保する、
どれだけ改良する費用をつぎ込んだのかおしめしていただきたいと思います。これ言ってい
いかわかりません PFI の契約なんですけども今、コンサルタントに委託していますよね。900
万ぐらいで。ところが、どこの業者なのかなちょっと興味があったので見ました。これ全国に
点在する何箇所かある大手の土木コンサルタントでした。実績に PFI の運用の実績はございま
せんでした。それで、その中に協力事業者が、あれば書いてくださいというのがあったと思
います。そこに、表には土木コンサルタントがあって協力会社のところにはどういった会社があ
るのか全然わかりませんでした。なので、そこら辺ですね、コンサルタントの運営に関する
実績のあるコンサルタント会社がいるということであれば明らかにして欲しい。ホームページ
の方にもでてたわけです。その採点方式とかみたときにその実績とか何とか、採点には入って
ないですよ実績がないようなところにどうやって、だしたんだろうなというふうに思っ
てます。ということであれば、協力会社がそういうところがあるから安心してまかせたのかなと思
ってるので、その実績があったら、そこをお示ししていただければ安心できるかなとおも
いました。

【町】

それでは人口の件ですが、宮平ハイツの行政懇談会での説明についてだと思っております。
その際は、町の企画財政課の説明でしたが、おそらく、南風原町の人口ビジョンについて説明さ
れたと思います。南風原町の人口ビジョンに示される数字は出元が社人研（国立社会保障人口
問題研究所）のデータからだと思われます。事業費について 50 億円が 53 億円に上がったとい
うことですが、それについて町は、当初から 53 億円で公表しています。そして、農地の土地改
良で綺麗に整備したことについてですが、おっしゃる通り整備しています。

【質問者⑨】

費用がいくらかかたのか。

【町】

手元に資料がないので、すいませんがお答えすることはできません。

【町】

公共施設管理計画ですが、これは先ほども申し上げたように、耐用年数においてすべての施設を建て替えした場合を試算したら多くの費用がかかるので、そうならないように各事業において、個別の管理計画を作成していくことをとりまとめた計画となっています。ご理解いただきたいと思います。

【町】

現在、PFI 導入可能性調査をコンサルタントに委託して行っていますが、先ほどのご質問は、受注されてるコンサルタントが PFI 導入可能性調査の実績がないという質問でしたが、実績はあります。また、プロポーザル方式で、事業者選考を行う際には、全国的に事業を実施している件数や、また、今回の事業と同様な拠点施設の実績も要件に含めています。そういった事業の実績も十分にあるコンサルタントが応募していただき、その中で選ばれているということです。

【質問者⑨】

今後、質問がある場合は、どこが窓口になりますか。

【町】

窓口は、都市整備課となります。